大　　会　　要　　項

１．名　　称　２０２４年 宮城リーグ会長杯 春季大会

２．期　　日　２０２４年３月１７日（日）
（予備日：３月２３日（土）、２４日（日））

３．会　　場　海岸公園第３，４グラウンド
※予備日の場合も同様

４．主　　催　宮城県リトルリーグ野球協会

５．主　　管　宮城リーグ

６．競　　技　代表決定戦：４チームによるトーナメント方式（２チームはオープン戦）

７．運　　営　日本リトルリーグ野球競技規則並びに大会運営要項及び特別競技規則による。

８．登　　録　① 選手登録書に所定の事項を洩れなく記入し メールにて大会実行事務局へ送付するこ
（3月8日（金）必着）
■大会実行事務局：稲田　naokinada2003@gmail.com
② 大会当日は、大会登録料 15,000 円を各大会本部に持参の上、8時までに登録すること。

９．参加資格　2011年9月１日生～2014年8月31日生までとし，2024年1月末までに東北連盟へ国際登録及び全選手登録を行なった、全日本選手権出場資格を有する選手とする。

10．構　　成　チームの編成はチーム単位とし、各チームの選手は10名から14名とする。
ベンチ入り可能な指導部は監督1名、コーチ2名とする。但しコーチは4名まで登録を認め

11．選手確認　選手登録書により確認を行う。

12．集　　合　各チームは8時までに大会会場へ到着し、大会本部へ連絡すること。

13．開 会 式　午前8時30分開始の予定（会場：第3グラウンド）
※プラカード、チーム旗（旧リーグ旗）を忘れずに持参すること。

14．応援と協　① リトルリーグ憲章の精神に則り、リトルリーグにふさわしくない
内容のものは禁止する。
② 参加代表チームは当該試合に自チームのアナウンサー1名を配置する。
③ 参加チームからのグランド整備スタッフ5名を配置する

15．会　　議　代表者会議（理事、監督、事務局対象）及び抽選会を、予選初日8時10分より第3ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞで行

16．審　　判　審判は宮城県協会審判部が4人制で運営し、帯同審判１名とする。

17．閉 会 式　全試合終了後、閉会式を実施する。（優勝及び準優勝のチームを表彰）

18．大会規則　全日本リトルリーグ野球選手権大会の規則に準ずる。（全選手連続打順制とする）

19．代　　表　大会後実施される指導者部会において優勝したチームの監督が代表選手の選考を行い、5月初旬に開催される「文部科学大臣杯 JA共済トーナメント第57回全日本リトルリーグ野球選手権 東北連盟大会」に、宮城リーグ代表として派遣する。

20．選手選考　大会終了後、下記の要領で代表選手の選考会を行う。
3月17日（日）17時00分～（予定）
於：仙台市高砂市民センター（和室１）
〒983-0014　宮城県仙台市宮城野区高砂1丁目24-9
※開始時間は、試合の進行状況により当日調整
参加者：代表監督、各チーム監督、理事１名、宮城リーグ役員

21．災害連絡　災害発生時の問い合わせ先：
「災害伝言ダイヤル」の登録・確認
→「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って録音・再生を実施
または、大会実行事務局：稲田まで：携帯090-5184-6498
※当日、地震震度5以上の発生時は大会中止か延期となる場合がある。

22．天候連絡　雨天の場合の問い合わせ先：午前6時最終決定とする。（予定）
大会実行事務局：稲田 携帯090-5184-6498

【 県協会 イニング＆バッテリー・長打 MEMO 】

大会名： 宮城リーグ会長杯春季大会　　本部担当リーグ：仙台東
開催グランド名：海岸公園第3球場
2024年3月17日（日） 開始時間 11:43　　終了時間 12:59

	VS Name	1	2	3	4	5	6	7	8	9	TTL
①	仙台黒松	1	0	0	0	0	1				2
②	宮城利府	0	0	4	0	0	×				4

①	投手	長澤 →	山本 →	→	→	
	捕手	佐藤 →				
②	投手	才津 →	→	→	→	
	捕手	大類 →				

①	2塁打	李					
	3塁打						
	本塁打						
②	2塁打						
	3塁打						
	本塁打						

<ﾄﾋﾟｯｸｽ>準決勝

大会名： 宮城リーグ会長杯春季大会　　本部担当リーグ：宮城野
開催グランド名：海岸公園第4球場
2024年3月17日（日） 開始時間 11:45　　終了時間 13:14

	VS Name	1	2	3	4	5	6	7	8	9	TTL
①	仙台青葉	1	0	0	0	0					1
②	宮城野	3	1	3	3	1×					11

①	投手	渡邉 →	吉田 →	館 →	→	
	捕手	青柳 →				
②	投手	高澤 →	→	→	→	
	捕手	朝倉 →				

①	2塁打						
	3塁打						
	本塁打						
②	2塁打	紀野國	高澤				
	3塁打						
	本塁打						

<ﾄﾋﾟｯｸｽ>準決勝

大会名： 宮城リーグ会長杯春季大会　　本部担当リーグ：仙台東
開催グランド名：海岸公園第3球場
2024年3月17日（日） 開始時間 14:00　　終了時間 15:22

	VS Name	1	2	3	4	5	6	7	8	9	TTL
①	宮城利府	0	0	2	1	1	0				4
②	宮城野	0	0	0	1	1	0				2

①	投手	武田 →	→	→	→	
	捕手	大類 →	→	→	→	
②	投手	紀野國 →	髙橋（瑠）→	→	→	
	捕手	髙橋（瑠）→	朝倉			

①	2塁打	大類					
	3塁打						
	本塁打	吉田					
②	2塁打						
	3塁打						
	本塁打						

<ﾄﾋﾟｯｸｽ>決勝

大会名： 宮城リーグ会長杯春季大会　　本部担当リーグ：仙台東
開催グランド名：海岸公園第3球場
2024年3月17日（日） 開始時間 9:35　　終了時間 10:59

	VS Name	1	2	3	4	5	6	7	8	9	TTL
①	仙台東	10	3	1	3						17
②	宮城広瀬	0	0	0	0						0

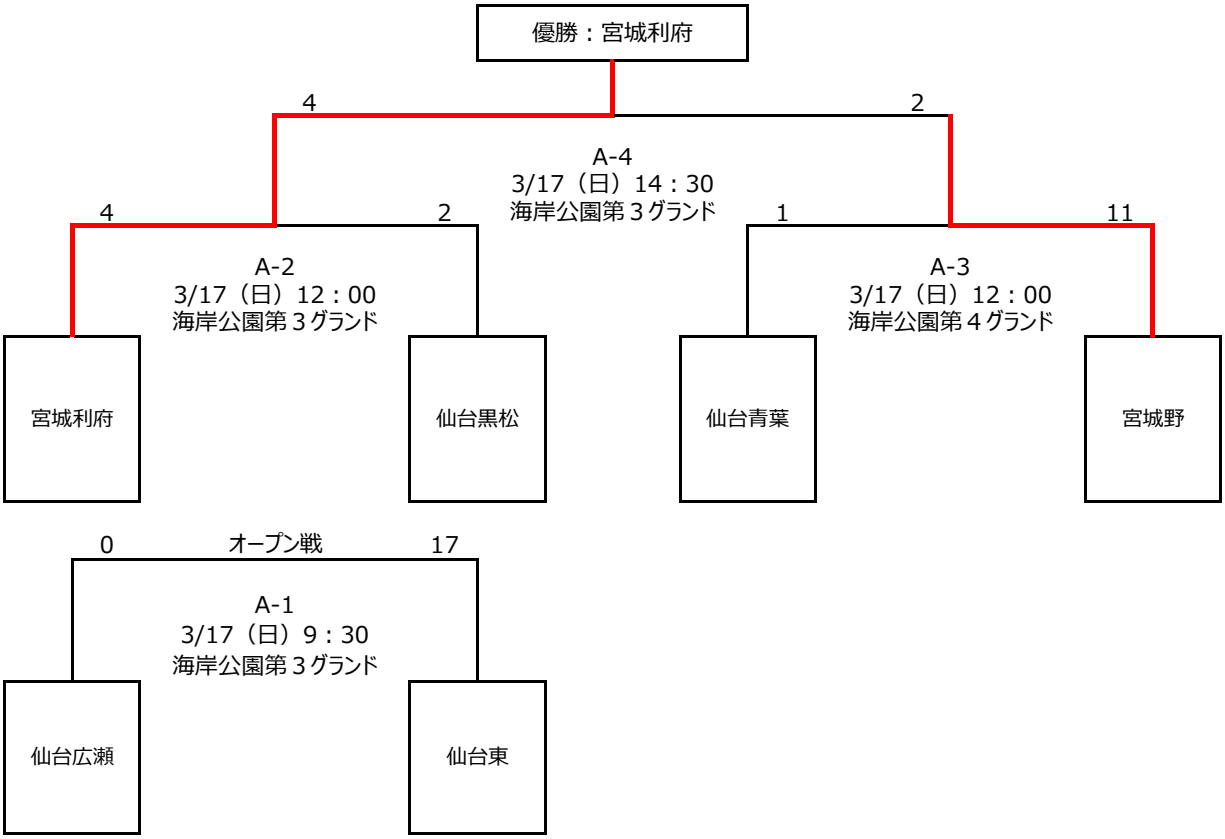
①	投手	平田 →	後藤 →	→	→	
	捕手	髙橋 →	平田			
②	投手	夏井 →	渡辺 →	→	→	
	捕手	渡辺 →	赤見内			

①	2塁打	佐藤	髙橋 2	平田			
	3塁打	髙橋	後藤	佐藤			
	本塁打						
②	2塁打						
	3塁打						
	本塁打						

<ﾄﾋﾟｯｸｽ>OP戦

2024年 宮城リーグ会長杯 春季大会　組合せ

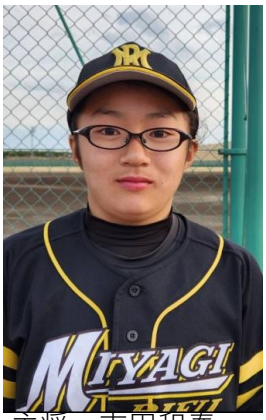
■決勝トーナメント



大会名：	2024年　宮城リーグ会長杯　春季大会
優勝チーム：	宮城利府

監督　武田智史

監督コメント：シーズンオフの地道なトレーニングを経て
迎えたシーズンでしたが、選手一人ひとりの頑張りで
優勝することができました。
東北連盟大会では宮城リーグの代表として選手一丸となり
全国大会出場に向けて一戦必勝で頑張ります。
引続き選手への応援をよろしくお願い致します！



主将　吉田和奏

主将コメント：シーズンオフの厳しい練習で身に着けた
力を発揮し、優勝することができとても嬉しく思います。
日々、指導してくださる監督・コーチ、いつも応援して
くれる保護者に感謝の気持ちを持ち、宮城リーグの
代表としてチーム一丸となって東北練連盟大会、
全国大会でも優勝目指して頑張ります！

大会名：	２０２４年 宮城リーグ会長杯 春季大会
準優勝チーム：	宮城野

監督　河西　崇

監督コメント：
新チーム発足より「選手権優勝」を目指し、チーム一丸となり取り組んでまいりました。結果は準優勝となりましたが、選手は試合毎に成長を続け、最後まで諦めない宮城野の野球を実践してくれました。宮城リーグの活動を通じて、他チームとも密な関係性を築けており、選手・指導部共に学べることは多くあります。これからも選手・父兄・指導部が三位一体となり、子供たちの成長を支えていきたいと思います。

主将　菊田　修

主将コメント：
準優勝という悔しい結果にはなりましたが、６年生が2人しかいないなか5年生を中心に下級生たちがチームを盛り上げてくれました。チームワークの大切さを感じ、仲間の心強さを感じ、最後は悔しさを分かち合いました。
これからも大会は続きますので、一生懸命練習し、優勝してみんなで笑えるように頑張っていきます。

大会名：	2024年 宮城リーグ会長杯 春季大会
3位チーム：	仙台黒松

監督コメント：
大会を通じて、子どもたちは大きく成長してくれました。
チャンスの時、ピンチの時、どんな場面でも『笑顔』を絶やさず目標とする優勝に向かって頑張ってくれました。
準決勝で敗れはしましたが、必死に野球をしていた子どもたちの姿勢は私の誇りです。
この悔しさをこれからの長い野球人生において生かして欲しいと願っています。

主将コメント：
チーム一丸となり準決勝に挑みましたが、あと一歩及ばずとても悔しいです。
今大会の結果を糧に次の大会では優勝できるよう、チームの仲間とこれからの練習に励みたいと思います。
優勝をした宮城利府さん、おめでとうございました。そして、とても楽しい戦いをありがとうございました。

大会名：	2024年　宮城リーグ会長杯　春季大会
第３位チーム：	仙台青葉

監督　遠藤　正明

監督コメント：本大会の開催にあたり、準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様に対し、心から感謝を申し上げます。
我がチームは6年生から3年生まで、全9名という苦しい台所事情の中で本大会へ挑みましたが初戦敗退という悔しい結果におわりました。
決して強いチームではありませんが、選手たちは大会を通じ、低学年をカバーしたりチームとしての役割や協調性というものを改めて学びました。
今後とも真のリトルリーガーを目指し、心技体ともに大きく成長する姿をサポートし、見届けていきたいと思います。

主将　館　大樹

主将コメント：
これまでこの大会の為に、指導してくださった監督、コーチ、そして応援してくれいる家族の為に全力で戦いました。結果は出ませんでしたがこの悔しさを忘れることなく、これからチーム一丸となってレベルアップできるよう努力します。

大会ベストショット

優勝：宮城利府

準優勝：宮城野

第三位：仙台黒松

第三位：仙台青葉

仙台東

仙台広瀬